

# 学校だより

No. **13** 青梅市立第三小学校  
校長 八木慎一

令和6年2月29日

青梅市大門 2-317 電話 0428-31-7266 学校HP <https://www.city.ome.tokyo.jp/school/daisan/-e/>

## 身を美しくする「しつけ」

校長 八木 慎一

校庭の梅の花も咲き始め、春の近づきを感じます。また、先月の道徳授業地区公開講座には多くの保護者や地域の皆様にご参観いただき、ありがとうございました。会場に入りきらなかった保護者の方には大変申し訳ありませんでした。今回は、あいさつと関連する“礼儀”をテーマにして、道徳の授業や音楽劇をご覧いただきました。道徳の授業や音楽劇を見た後の子供たちの様子からも、あいさつに対する前向きな気持ちを感じます。なお、日頃からたくさんの方々から三小の子供のあいさつの良さをほめてくださいます。毎日の通学路での朝のあいさつや、職員室への出入りの際のあいさつなどの、ちょっとした子供の立ち振る舞いからも（しつけが行き届いているなあ）と感じます。

ところで、「しつけ」は漢字では「躰」と書きます。身を美しくすることが躰です。布で衣服などを作るとき、細い糸で仮縫いをして型を整える糸のことを「しつけ糸」と言います。実に上手いネーミングです。このネーミングは、子供に対する「躰」を擬人化して「しつけ糸」と呼ぶようになったのではないかと、私は秘かに思っています。

裁縫で衣服を作る際に、せっかく折ったり押したりして布の形を整えても、しっかりとしつけ糸をかけないと本縫いを進めていく途中で形が崩れて上手く縫えずに、思い描いた形に出来上がりません。しっかりとていねいにしつけ糸をかけて、型崩れしないで本縫いできると、思い描いた形の衣服が出来上がります。衣服が完成したら、最後にしつけ糸は取ってしまいます。出来上がった衣服には、しつけ糸はもう必要ないからです。

このように、しつけ糸は人間の躰ととてもよく似ています。親は子育ての様々な場面で、わが子に型を教え、しつけ糸をかけているわけです。子供にていねいにしつけ糸をかけ、自分の力で適切に立ち振る舞う力を身に付けさせることは私たち大人の役割です。やがて子供は成長し、人としてのフォームを身に付け、自立できるようになります。しつけ糸を取っても型が崩れる心配が無くなった頃に、子供は自立を望みます。大人が子供にかけるしつけ糸は、子供が自立するまでの手助けにすぎませんが、とても頼りになる支えとなります。子供が自信をもって自立できるよう、ていねいに愛情をもって、躰けていきたいものです。

今後とも、本校の教育活動に対する温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

## 安心安全メールについて

現在登録されているデータは個人情報保護の観点から4月8日に全削除します。4月9日以降に改めての登録をお願いいたします。

### 【タイムスケジュール】

- |           |                        |
|-----------|------------------------|
| 4月8日 18時  | 登録アドレスを全部削除            |
| 4月9日      | 登録手続き案内の配布 ⇒ 各家庭でメール登録 |
| 4月10日～12日 | 登録確認のためのメールを配信（3回）     |

## マラソンチャレンジ週間

積雪の影響で延期になりましたが、マラソンチャレンジ週間を実施しました。「走るのは少し苦手..」という子も、みんなで励まし合いながら一生懸命走り切ることができました。青梅マラソンのコースをイメージしたカードを塗り進めながら成果を実感しているようでした。実際に、青梅マラソンに出場をした先生たちも、子供たちに負けないように一緒に頑張りました。ジュニアロードレースに参加した4・5・6年生もいたようで、熱の込められた走りが輝いていました。

目標をもって走ることで、心も体も強くなります。一生懸命に取り組んだ人は、清々しさを感じていることでしょう。

マラソンチャレンジ週間を通じて、走る事が習慣になったり、将来の青梅マラソンランナーが誕生したりすることを期待しています。

## 6年生の様子

小学校卒業まで、あとわずかとなりました。子供たちは、卒業を意識して一つ一つの活動に取り組んでいます。6年生教室前の廊下には、1年生から6年生までの思い出を一人一人が振り返り、付箋に書いて掲示しています。

先日、三中の学校説明会で授業体験や部活動の活動内容の紹介がありました。生徒会を中心に、中学生自身が主体となって説明を行ってくれたため、中学校生活を身近に感じ、子供たちは中学校進学への気持ちを高めていました。

3月に入ると卒業式の練習も始まります。小学校生活最後の行事で、大きく成長した姿を見せてくれることを期待しています。

## かすみ学級6年生の様子

節分の豆まき行事を行いました！

2月3日、かすみ学級の1年生と6年生で、節分にちなんだ行事を行いました。6年生はこの日に向けて、事前に節分に関するお話の読み聞かせを練習したり、鬼のお面を作ったりして準備をすすめてきました。

当日、まずは6年生が1年生を招き、節分についての読み聞かせを行いました。読み聞かせが終わるころに、廊下から6年生扮する鬼が登場！1年生は豆に見立てた新聞玉を鬼に投げ、鬼を追い払い、かすみ学級の節分行事は大成功となりました。1年生は「まめをたくさんまけて楽しかった」「鬼がこわくてびっくりした」と満足気でした。6年生からは「1年生が喜んでくれてよかった」「鬼をやってみるのも楽しかった」と、高学年らしい感想を聞くことができました。異学年で季節の行事を楽しむのはかすみ学級のよい点です。また、機会があれば季節の行事をみんなで楽しみたいと思います。

## 保健委員会より

保健委員会では、三小の感染症予防の意識向上を目指し、毎学期に1回『ハンカチ運動』を行っています。この運動は、保健委員の子供たちが自主的に企画し取り組んでいます。クラスの7割以上の人数が期間中ハンカチを持ってきているかチェックし、期間中毎日達成できたクラスを表彰しています。また、3回実施したすべての『ハンカチ運動』において毎日ハンカチを持ってこることができていた学級が7クラスありました。2年1組、2年3組、3年2組、5年1組、5年3組、5年4組、かすみ学級です。2月26日の全校朝会で全校児童の前で代表者へ表彰状とトロフィーの授与を行いました。

こうした身の回りの清潔に気を付けることで、感染症を予防し子供たち一人一人の健康につながることや、達成したという喜び・自己肯定感を育むことにつながると考えます。

ぜひ今後も引き続きご家庭でもハンカチを持たせることへのご協力をよろしくおねがいいたします。

**手洗いは感染予防の基本です！**

**○手洗いは石けんをつけて洗いましょう！**

研究より、手洗いは『石けん』をつけることで、水だけで洗う時よりもウイルス・細菌の数を減らすことができるということが明らかになっています。

**○ハンカチはいつも清潔に！**

何度も手をふいたハンカチには菌が多く付着しています。ハンカチは毎日清潔なものと取り換えましょう。清潔なハンカチの予備をランドセルに入れておくのもいいですね！

## お知らせ・お願い

- 年度の変わり目に上履きを新調する予定の方にはお願いです。サイズが合わずに不要になった上履きがありましたらご寄付をお願いします。上履きを忘れてきた児童に貸し出すために使わせていただきます。（お子様を通じて副校長にお渡しください）
- 年度をまたいで使う教科書があります（社会科の地図帳など）。各学年の指示に従って必要なものは残しておいてください。（万一紛失したときは自費での購入になります）
- 3月は個人情報を聞き出す電話がかかってくるが多くなります。「連絡先を教えてください」などの不審な電話があっても、個人情報を出すことのないようお願いいたします。